

▶ ウシオの歴史

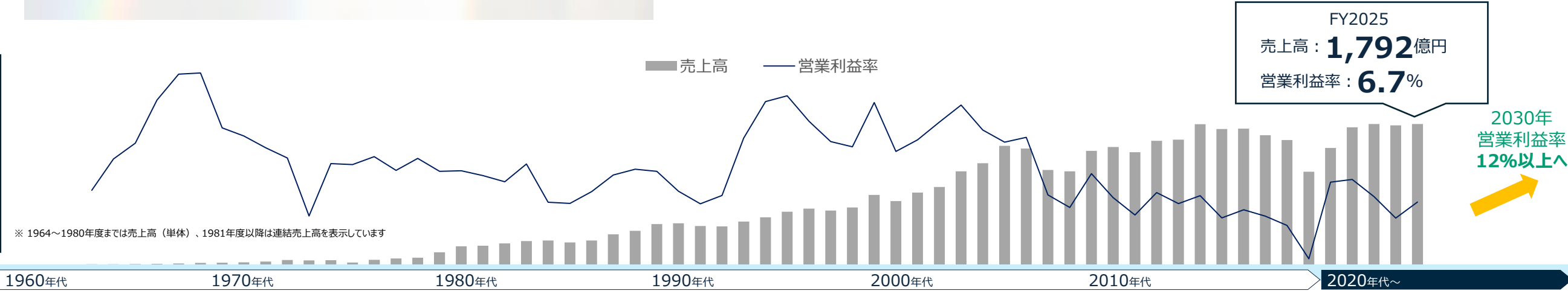
ウシオは光のプロフェッショナルとして
世の中の**技術革新のボトルネック**を
“**光**”で解決してきました

<ウシオの原点>

創業当時からの一環した信念
光を**あかり**として、**エネルギー**として利用し、
新しい**光市場**を創造する。

光の**ニッチトップ**という
ポジショニングを確立
高シェア製品を多数保有

業績推移



時代背景

- モノクロからカラー映画への移行
- OA化の潮流
- 大阪万博
- 宇宙開発計画
- ノートパソコン普及(1980年台)
- 液晶テレビ普及(1990年台)
- 映画のデジタル化進展
- スマートフォンをはじめとした新たな電子デバイスの普及
- IOT、AIの進展

魅せる

- シネマプロジェクター用ランプ事業開始



固める

- OA化の潮流を促進
- 日本で初めてハロゲンランプを開発（トナー定着用ハロゲンランプの開発）

描く

- 半導体製造技術の革新に大きく貢献
- 半導体の露光用UVランプの開発



洗う

- エレクトロニクス分野（半導体・液晶）の技術革新に貢献
- 液晶ディスプレイの普及に貢献
- 世界で初めてエキシマランプを製品化（光洗浄用エキシマ光照射装置の開発）



魅せる

- シネマコンプレックスの普及や市場規模の拡大に貢献
- デジタルシネマプロジェクターの開発



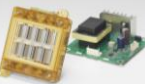
並べる

- スマートデバイスの普及加速、高精細ディスプレイの性能向上に貢献
- 光配向装置の開発



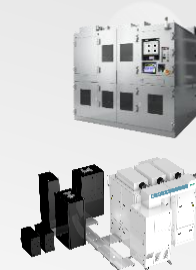
除菌・分解する

- 安心・安全な環境の提供に貢献
- 抗ウイルス・除菌技術「Care222®」搭載モジュールの開発



描く

- 生成AI等の次世代半導体の進化・実現に貢献
- 次世代露光装置の開発及びラインアップ拡充（生成AI半導体に対応する新たな露光装置を開発）

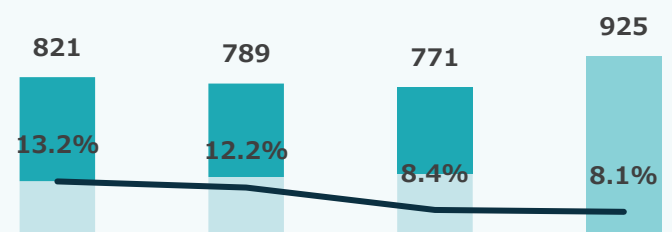


▶ 事業セグメントとセグメント別業績

Industrial Process事業 注力事業

主な事業領域：半導体・フラットパネルディスプレイ・電子デバイス等

- 光学装置事業
- 光源事業
- 営業利益率



(単位：億円)		FY2023	FY2024	FY2025	FY2026(見通し)*
サブセグメント別売上高	光学装置事業合計	522	469	435	925
	露光装置	329	290	272	
	光学装置その他	193	179	163	
	光源事業合計	298	319	335	
	露光用ランプ	140	149	154	
	OA用ランプ	55	60	51	
	光学機器用ランプ	102	109	129	

*OSRAMランプ事業買収の影響：売上高+121億円

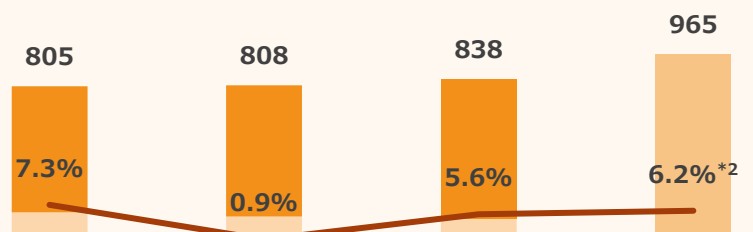
サブセグメント	世界シェア*	用途	製品
露光装置	投影露光装置 90% ダイレクトイメージング 50%	半導体アドバンスドパッケージ等 (GPU、CPU、ASIC、AP等)	分割投影露光装置 (UX-5) ダイレクトイメージング露光装置
	—	パワー半導体、電子デバイス (RF、水晶振動子、プリンタヘッドノズル等)	分割投影露光装置 (UX-4)
	—	プリント基板	ダイレクトイメージング露光装置 コンタクト露光装置
光学装置その他	—	EUVマスク検査用EUV光源	EUVマスク検査用EUV光源
	貼り合わせ用 70% 光配向装置 80%	FPD (液晶パネル製造装置)	液晶パネル貼り合わせ用紫外線照射ユニット 光配向装置
露光用ランプ	半導体用 75% FPD用 70%	露光装置向けランプ (FPD、半導体、電子部品等)	半導体、FPD、電子部品用露光装置に搭載される1線ランプウシオ製露光装置用リプレイスランプ含む
OA用ランプ	80%	複写機やコピー機等のトナーの溶解と固定	コピー機及びLBP (レーザービームプリンター) のトナー定着用途
光学機器用ランプ	パネル光洗浄装置 90%	自社製光学装置の交換用ランプ 他	光洗浄、貼り合わせ用ランプなど

*2025年3月31日現在/自社調べ

Visual Imaging事業 安定収益事業

主な事業領域：映画館・イベント演出等

- 映像装置事業
- 光源事業
- 営業利益率



(単位：億円)		FY2023	FY2024	FY2025	FY2026(見通し)*1
サブセグメント別売上高	映像装置事業合計	641	667	707	965
	シネマ	313	319	317	
	一般映像	328	347	389	
	光源事業合計	163	141	131	
	プロジェクター用ランプ	126	105	96	
照明用ランプ	36	36	35		

*1: OSRAMランプ事業買収の影響：売上高+116億円 *2: 買収影響除けば、営業利益率8%達成の見込み

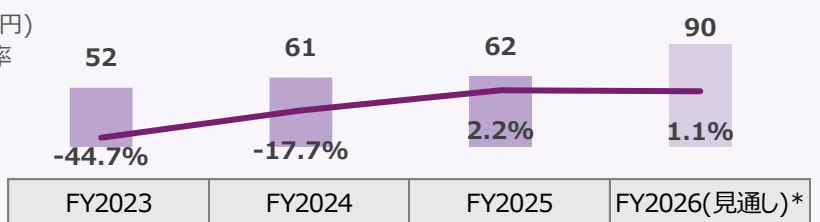
サブセグメント	世界シェア*	用途	製品
シネマ用プロジェクター	35%	映画館	RGBレーザープロジェクター ランププロジェクター オーディオ機器などの関連製品
一般映像用プロジェクター	—	・テーマパーク等のアトラクション ・プロジェクションマッピング ・施設常設 ・デジタルサイネージ ・コントロールルーム ・バーチャリアリティーシステム	プロジェクター LEDビデオウォール プロセッサなどの各種機器
プロジェクター用ランプ	シネマ用 65%	デジタルシネマプロジェクター (DCP) データプロジェクター	シネマ用ランプ データプロジェクター用ランプ
照明用ランプ	—	スタジオ、舞台・劇場照明、景観照明、テレビ局などの照明	照明用ランプ

*2025年3月31日現在/自社調べ

Life Science事業 育成事業

主な事業領域：メディカル・環境衛生等

- 売上高(億円)
- 営業利益率



*OSRAMランプ事業買収の影響：売上高+27億円

主要事業・製品

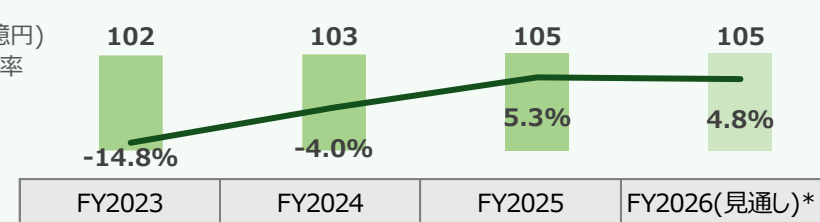
光源：
 「Care222®」搭載モジュール 他

装置：
 紫外線治療機器 他

Photonics Solution事業

主な事業領域：固体光源、レーザー

- 売上高(億円)
- 営業利益率



*OSRAMランプ事業買収の影響：売上高+6億円

主要事業・製品

光源：
 固体光源 (LD/LED)

レーザーモジュール